こんにちは　日本共産党杉並区議会議員

酒井まさえです

２０２１年１２月２日　№１０６　**連絡先**　日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
０９０-９３２５-５６７６　sakaimasae.0507@gmail.com

杉並区議会第４回定例会　一般質問

児童館・ゆうゆう館等の廃止ストップ！

11月17日、杉並区議会・第4回定例会で、日本共産党区議団の富田区議が一般質問に立ち、施設再編整備計画の問題点を取り上げ、「児童館」や「ゆうゆう館」（敬老会館）などの施設廃止計画を見直すよう区に求めました。

児童館８館、ゆうゆう館８館廃止?!

杉並区は、第１期再編計画により今年度までの８年間で、児童館12館、ゆうゆう館３館、他にも区民事務所会議室などの集会施設を廃止してきました。

来年度から始まる第２期計画では、さらに児童館８館、ゆうゆう館８館、集会施設９施設の廃止が計画されています。子ども・子育てプラザとコミュニティふらっとがつくられるとしても、施設数及び床面積の減少は大きく、区民への影響は大きくなります。

「真に必要な規模」について　区は具体的に答弁できず

第２期計画案で、区は改修などの施設整備では「スリム化を図るなど真に必要な規模に抑えていく」と

（次ページへつづく）

ゆうゆう松ノ木館
（計画には上がっていません）

済美山のメジロ　Ｓ氏撮影

■児童館、ゆうゆう館、集会施設等の施設数と床面積の推移

施設種類	当初（2013 年度）		第１期計画終了時（2021 年度末）		第２期計画１次プラン終了時（2024 年度末）	
	施設数	延べ床面積の合計	施設数	延べ床面積の合計	施設数	延べ床面積の合計
児童館	41	25,250 ㎡	29	17,900 ㎡	21	12,430 ㎡
子ども・子育てプラザ	0	0 ㎡	6	4,180 ㎡	9	6,270 ㎡
ゆうゆう館	32	7,860 ㎡	29	7,300 ㎡	21	5,350 ㎡
区民センター	7	25,000 ㎡	7	25,000 ㎡	7	25,000 ㎡
区民集会所	10	4,200 ㎡	11	4,560 ㎡	8	3,200 ㎡
区民会館	4	2,580 ㎡	3	2,360 ㎡	2	1,470 ㎡
区民事務所会議室	18	6,200 ㎡	7	1,490 ㎡	2	520 ㎡
コミュニティふらっと	0	0 ㎡	4	2,630 ㎡	11	7,233 ㎡
合計	112	71,090 ㎡	96	65,420 ㎡	81	61,473 ㎡
増減（当初の施設数、床面積との差分）			-16	-5,670 ㎡	-31	-9,618 ㎡

※児童館、ゆうゆう館の延べ床面積は施設白書2010を参考にした。それ以外の延べ床面積は2021年第4回定例議会の答弁を参照した。
※区民事務所会議室については、2013年度に保育室等への転用が行われる前の施設数を基本とした。
※第2期計画終了時の子ども・子育てプラザとコミュニティふらっとの延べ床面積は、第1期計画終了時の延べ床面積より1施設当たりの平均床面積から算出した。

しています。

質疑では、この「真に必要な規模」とはどのように算出して計画を立てたのかを問いただしましたが、区は「個々の施設の特性、利用状況、地域特性を考慮して、必要な設備、諸室の面積を算出している」としか答弁できませんでした。

子ども・子育てプラザやコミュニティふらっと等の代替施設の規模については計画的に算出しているわけではなく、場当たり的な整備でしかないことが明らかとなりました。

校舎の多機能化・複合化
学校プールの廃止も?!

区立施設の半数を占める小中学校の校舎についても、建て替え時に「周辺地域との複合化を基本」とすると、かなり踏み込んだ計画となっています。

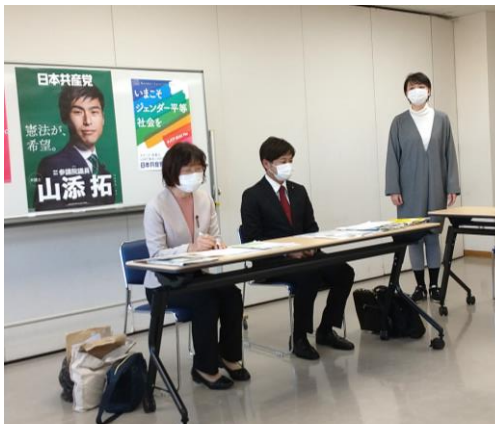
富田区議は、特別教室やグラウンド面積の削減につながるような複合化を行わないよう求めました。

また、計画案は、学校の水泳授業を民間スポーツ施設で実施している他自治体の取組を例示し、民間委託等を進めるとしています。しかし、学校プールは授業だけでなく夏場のプール開放や震災時の生活用水・消防水利等、地域で重要な役割を担っており、コスト削減のために廃止すべきではありません。

この点を追及しましたが、区は「様々な用途で使われているのは理解している」「開放プール等についても利用率をこれから確認し、その上で進めて行きたい」と答弁しました。

11・28「市民と野党で政治をかえましょう」つどい開く

酒井地域後援会は、北部と南部に分けて「みんなで政治の話をしましょう」とつどいを開催しました。区立施設再編のこと、都立・公社病院のことなどが話題になりました。衆議院議員の吉田はるみさんも参加しました。



健康の話　冬の水分補給

師走に入り寒くなってきましたが、みなさんは風邪をひいていませんか?

風邪予防には、手洗い・うがいと水分補給が大事です。

風邪やインフルエンザ、コロナの原因となるウイルスは、乾燥した状態で活発に活動します。逆に湿度が50%以上になると、活動が急激に低下します。水分補給で、のどや鼻の粘膜をうるおすとウイルスの侵入を防ぐことができ、さらには侵入したウイルスを、痰や鼻水により身体の外に出すことを助けます。

風邪をひいてしまったら、発熱や、食欲低下、下痢、嘔吐などの症状により水分の排出が多くなるので、普段以上に水分補給をしましょう。

冬場は、脳卒中、心筋梗塞を起こす人が増えます。寒くなり血圧が高くなることも原因となりますが、水分補給も大いに関わります。寒くなると汗をかかなくなり、のどの渇きを感じにくく、水分補給が減ってしまいがちです。

その結果、血液の粘度が上がり「ドロドロ」状態になり、脳卒中や心筋梗塞を起こしやすくなります。

冬場でも水分補給に心がけましょう。

お困りのことがありましたら、酒井にご相談ください。